

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 健康推進課			内線等	8078
事務事業名	一般不妊治療費助成事業			事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）		
根拠法令等	蒲郡市不妊治療費の助成に関する規則			Dその他			

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	保健
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	不妊治療を受けている夫婦（市民）に対し
手 段	不妊治療に要した本人負担額の2分の1以内の額を補助することによって
想定する成果	経済的負担の軽減と少子化対策の充実を図ることを目的とする。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
助成組数		34組	70組
助成金額		735千円	2,800千円
助成対象数 （県試算件数）		65件	65件

成果指標

成果指標名	1組当たりの助成額	助成制度の利用率
成果指標の説明	助成金額 / 助成組数	助成組数 / 助成対象数（県試算件数）

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標						21,618円				40,000円			
成果指標						52.3%				107.7%			
事業費	事業費	0				735				2,800			
	人件費	0				781				785			
	(人数)	正規		非常勤		正規	0.1	非常勤		正規	0.1	非常勤	
	合計	0				1,516				3,585			
財源内訳	国												
	県					367				1,400			
	市債												
	その他												
	一般財源	0				1,149				2,185			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	-	2	-	県の制度創設に合わせて助成事業を実施。年度途中からの開始ということもあり、制度の十分な周知に至らなかった。
経済効率性	2	-	2	-	市の助成額の2分の1の県の補助あり。
事務効率性	2	-	2	-	申請受付から助成金の支払いまでの一律的な事務であるが、条件、細かな確認作業を伴うため、かなりの事務量である。
必要性	3	-	3	-	不妊治療は費用も高額になることが多く、治療を受ける夫婦にとって経済的負担の軽減になる。
小計	9	0	9	0	
施策への貢献度	3	-	3	-	少子化対策の一つの事業として効果がある。
合計	12	0	12	0	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	-	B	-	県の制度創設に合わせて助成事業を実施。年度途中からの開始ということもあり、制度の十分な周知に至らなかったため、周知に努めていく。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
なし
上記改善点の実施状況
なし

今後さらに改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療についての精神的な相談業務の対応や不妊治療から妊娠、出産への継続的な支援の実施。 ・助成制度の周知に努める。
--

平成21年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

